

単
元
名

幼児の生活と家族

教科書出版社名 (教育図書)

○ 中学校 (2) 年 教科等 (家庭)

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等で付けたい力)

- ・幼児の体、運動機能の発達の特徴を理解する。
- ・幼児の言葉や情緒、社会性、もののとらえ方を理解する。
- ・幼児が生活習慣を身につけるには、周りの大人の支えが必要であることを理解する。

(学校図書館等の活用で付けたい力)

- ・課題解決の方法や手順、必要な資料の収集等について見通しをもつ。
- ・様々な種類の文章から必要な情報を集める方法を身につける。
- ・情報を収集・活用し、言語活動を充実させることができる。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

● 情報収集

- ・インターネットや書籍、雑誌などの資料から必要な情報を集める。
- ・課題や目的に応じた方法で、信頼性の高い複数の情報を収集し、比較しながら必要な情報を選択・選択する。

● 整理・分析

- ・収集した多様な情報の中から課題解決につながる情報を読みとり、自分の考えを表現する。
- ・どうすれば相手にわかりやすく伝えられるかをイメージし、最もよい方法を選択して整理する。

● まとめ・表現・発信

- ・構成を考えて、決められた時間内で相手や目的に応じた文章の内容や表現方法を選択する。
- ・効果的な情報手段を選択し、相手意識を持ちながら、聞き手の反応を確認しつつ、自分の考えを表現する。

学習の展開 (全7時間) (学校図書館等を活用した時間は☆印)

第1次	・幼児の生活と成長についての単元内容を説明し、各班で調べ学習の担当する年齢とカテゴリーを確認する。
第2次 ☆	・担当する年齢とカテゴリーに関する情報を、資料や書籍、または、インターネットを活用して収集する。
第3次 ☆	・収集した情報をグループ内で交流し、整理する。
第4次	・まとめたことをクラス全体で交流する。

(本時 2 / 7 時)

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい
自分が調べる担当である年齢(0～5歳児)ごとに分かれて、それぞれ必要な情報を収集する。

学習展開

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点
10 導入	1. 学校図書館の使い方や書架の分類について、再度確認する。	・日本十進分類法について復習することで、スムーズな学校図書館利用につながるようにする。
30 展開	<p style="text-align: center;">自分の学習に必要な情報や資料を探そう</p> 2. それぞれの調べる年齢(0～5歳児)と、カテゴリーについて、必要な資料を探す。 ・心の発達と言葉、 ・生活習慣が身につく過程、 ・あそび、 ・食べ物、 ・体の発達、 ・生活 3. 探した資料や情報をワークシートに整理する。	<p>・自分の調べたいものを明確にし、いくつかのキーワードを思い浮かべながら、書籍の題名を手がかりに探っていくようにする。</p> <p>・目次を活用したり、ページを広げて複数の書籍を見比べたりすることで、活用できそうな資料を探すようにする。</p> <p>・自分にとって有用な記述を見つけるための読み方を意識し、できるだけ必要な部分に絞って書き写したりメモしたりするよう心がけさせる。</p> <p>・情報の整理に加え、自身の気づきや考え、さらには、友だちからの感想欄を設けることで、本時の学習について客観的な視点で振り返ることができるようにする。</p>
10 まとめ	4. 班員のまとめたワークシートを交換し、読み合う。	・自分の資料収集の成果が友だちに伝わったかどうかを振り返ることで、次回の学習へとつなげる。

図書館活用
ポイント

